

EMERALD SPLASH II



DOJIN
R18
成人向け

18歳未満の
購入・閲覧禁止



被験体には高い戦闘技能が
インプットされているが
現在、その機能には制限が掛けられている

それでも健闘はしているようだが
捕まるのは時間の問題であろう

前回に引き続き、特別製のウエルスを
ナノマシン群体である被験体に向けし、かける





舐めるなあーッ

くっ

ふわ

ぐる

ゆ

あは!

あは!



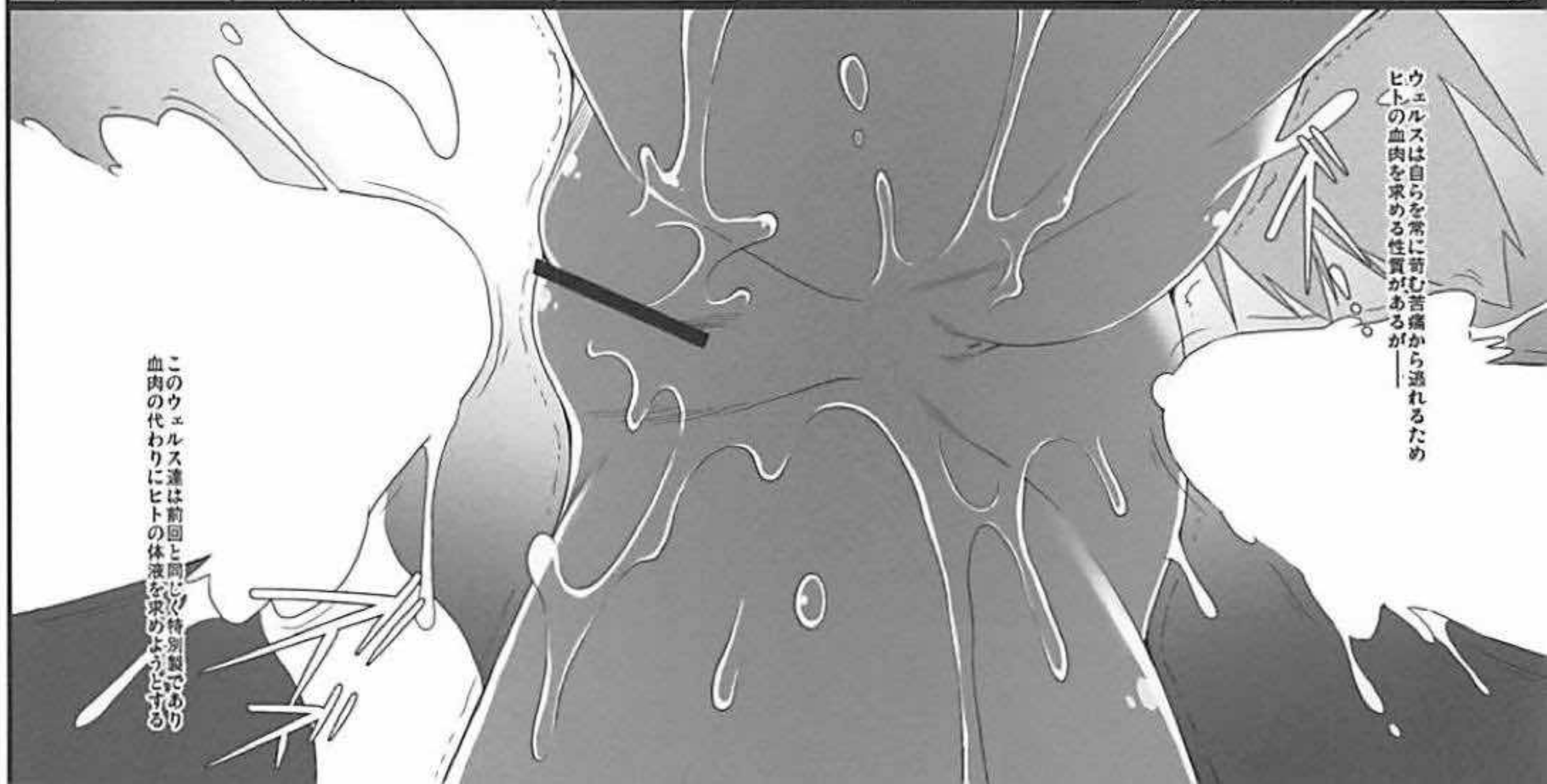
ヤッ

いやだッ

またッ

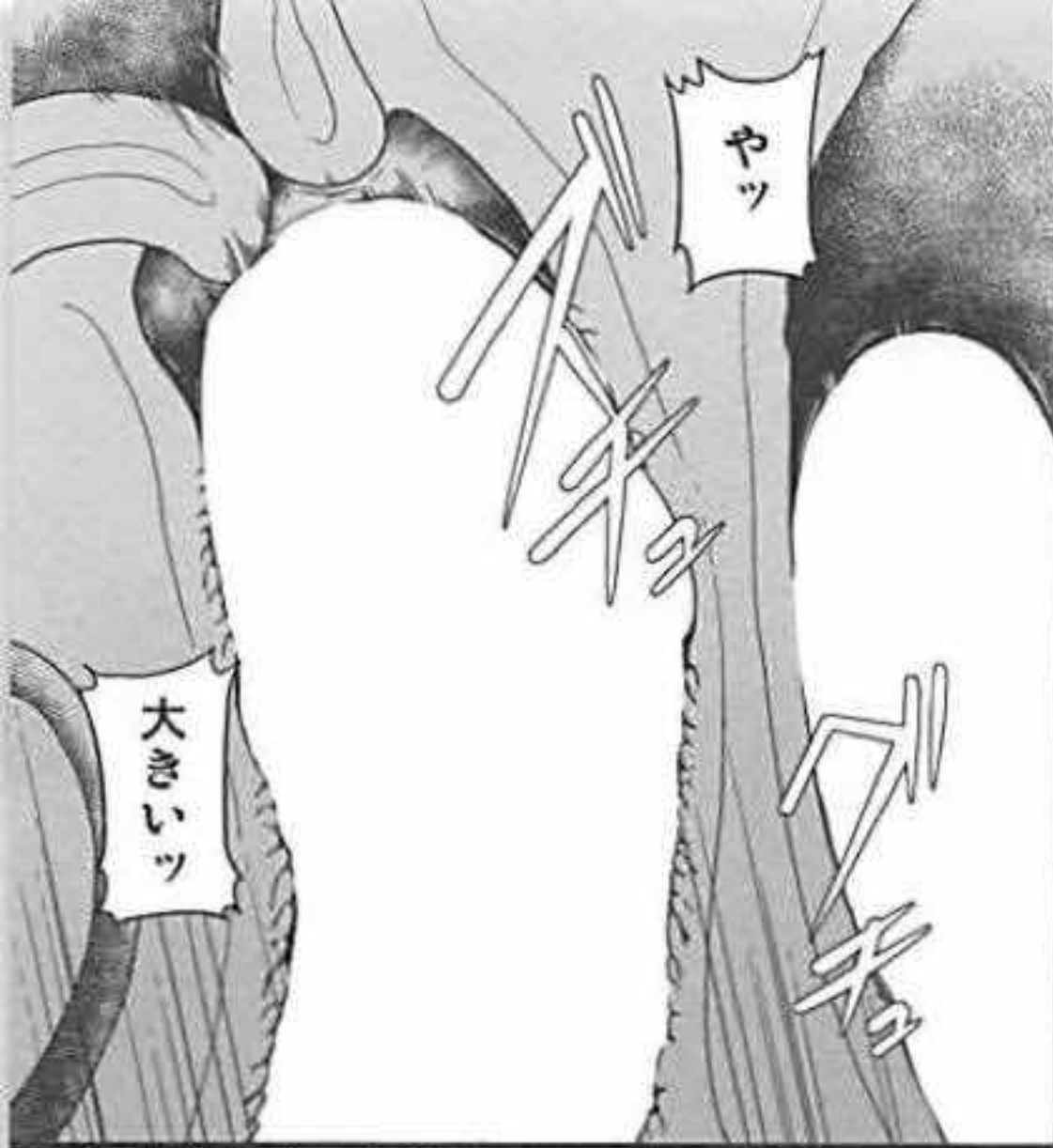
実際に支障がでぬよう前回の記憶の
消去を行ったが無駄であったようだ

あたし——またッ
おかしくなるのはイヤッ



ウエルスは自らを常に苛む苦痛から逃れるため
ヒトの血肉を求め性質があるが——

このウエルス達は前回と同じく特別製であり
血肉の代わりにヒトの体液を求めようとする





おなかッ

あえッ

んえッ

こわられるッ

あうッ!!

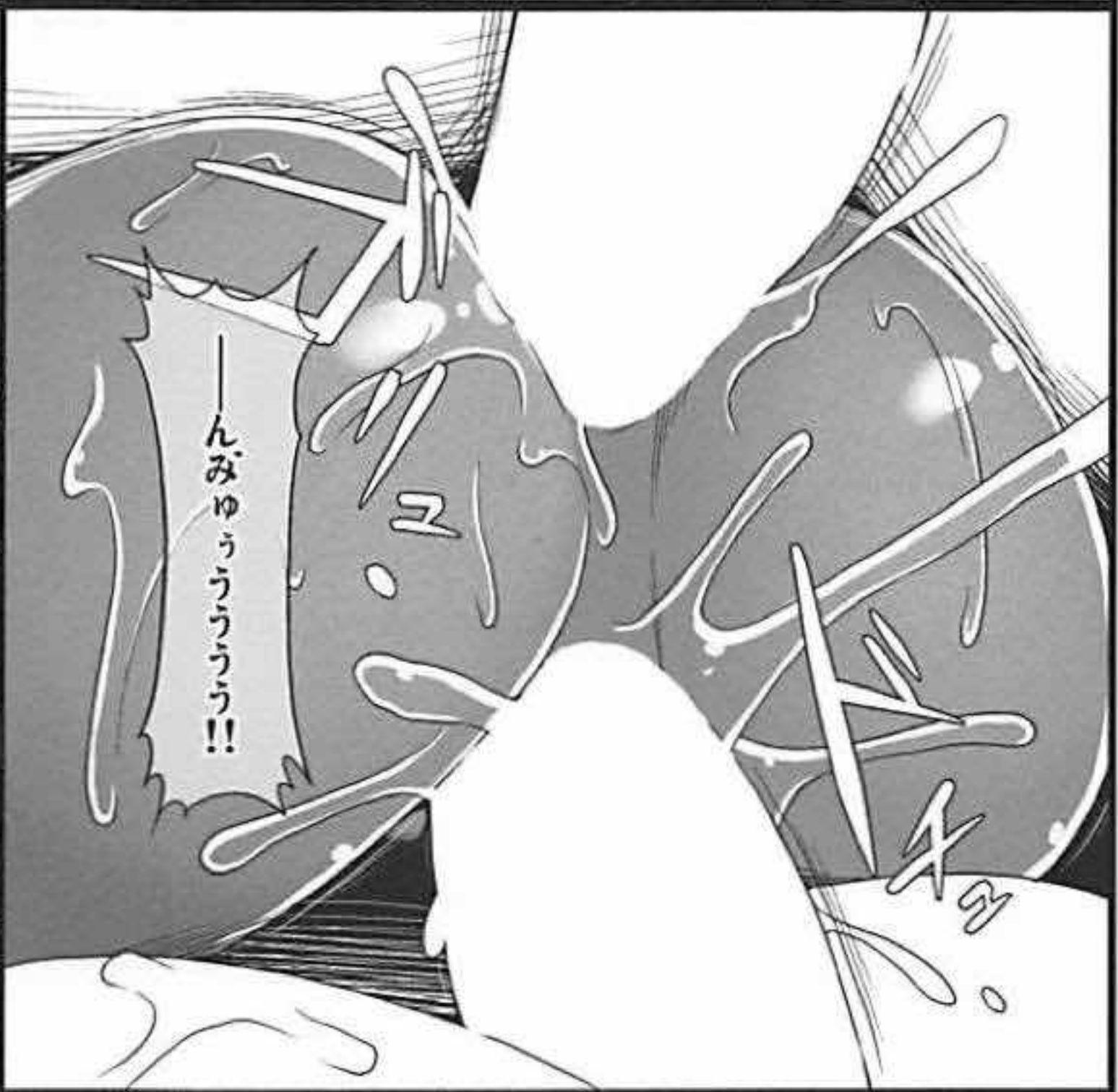
あむッ

おッ

んもッ

ごごごごごッ

んんん—ッ!!



ここからが本実験の肝となる
このまま快樂レベルを落とさずに神経機能に
負荷を掛け続け、ナノマシン群体の耐久限界を
測らなければならない

前回の実験で順応していたのか、被験体は
かなり早い段階でオルガズムを迎えた





が、四肢はしっかりと固められており
強引に胸を仰げ反られさせられ、自らの
弱点をウエルズ速に晒す格好となった

素の定、両乳首を弄られた途端、喘ぎ声の
トーンが変わり身体が激しく跳ね上がる

前の実験で明らかになっているが
被験体は乳首と陰核の性感が極端に高い



きびッ



んせう…

んふ

ん



やめでえ!!

おはらさん

おはらさん



おはらさん

おはらさん



おはらさん







粘液が十分に浸透し、容易に絶頂に達する
身体に変質し、穴という穴から体液を
垂れ流しにするまで続くのだ

被験体の四肢を拘束し完全に自由を奪ったウエルスは
丁寧に体表に粘液を塗りたくる

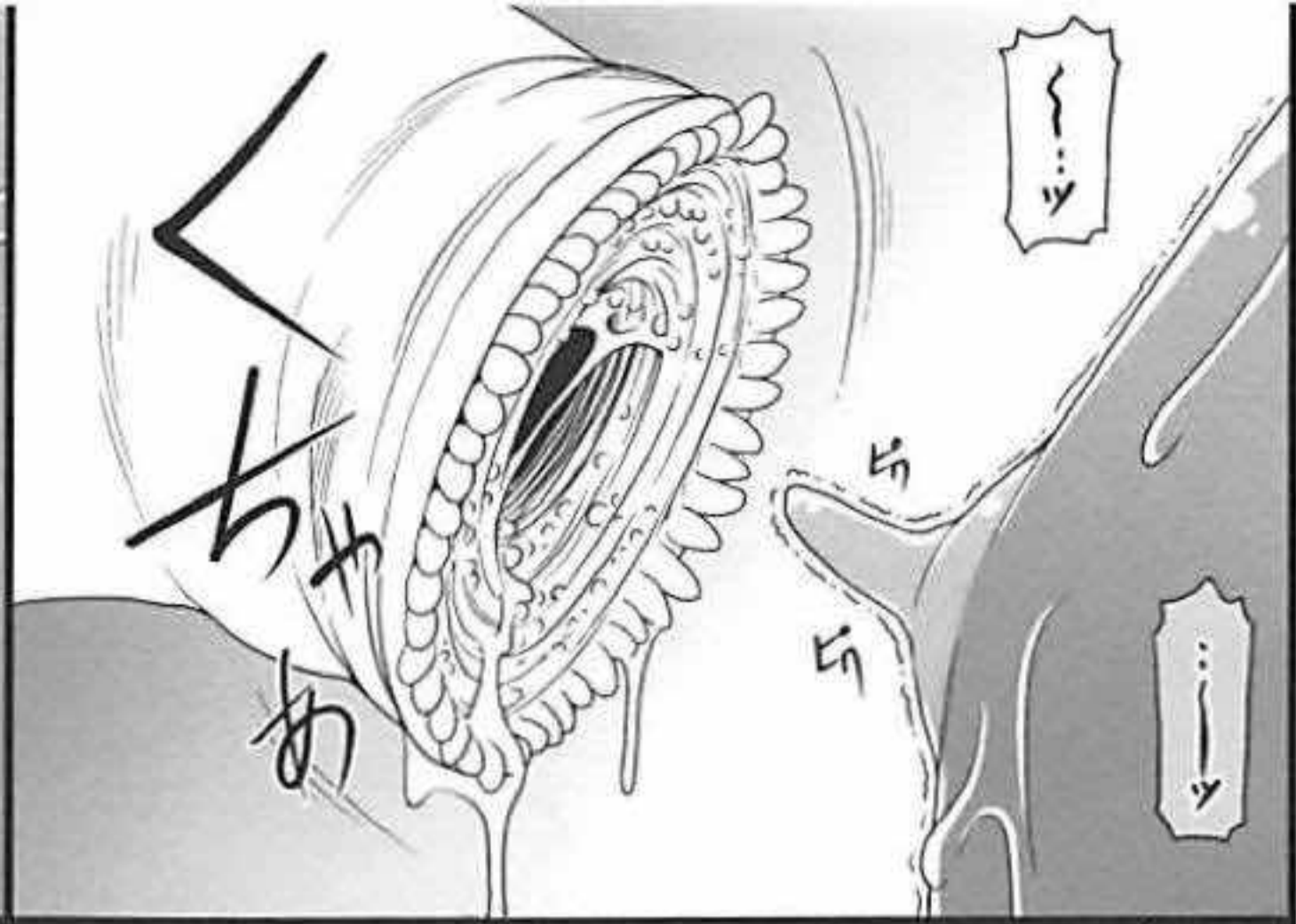
これは料理に例えるなら「下拵えに近い

—二時間後、寸分も身動きできない状態で横にされ、徹底的に弄られた突起は遠目にもはつきり判るほど肥大、勃起していた。

前の報告書に記載しているとおり、被験体を構成するナノマシンは快感をより引き出しやすいように変質する性質がある。

ウェルス達もそれを理解しているのか、両乳首と陰核に対する責めは容赦がなく執拗であった。



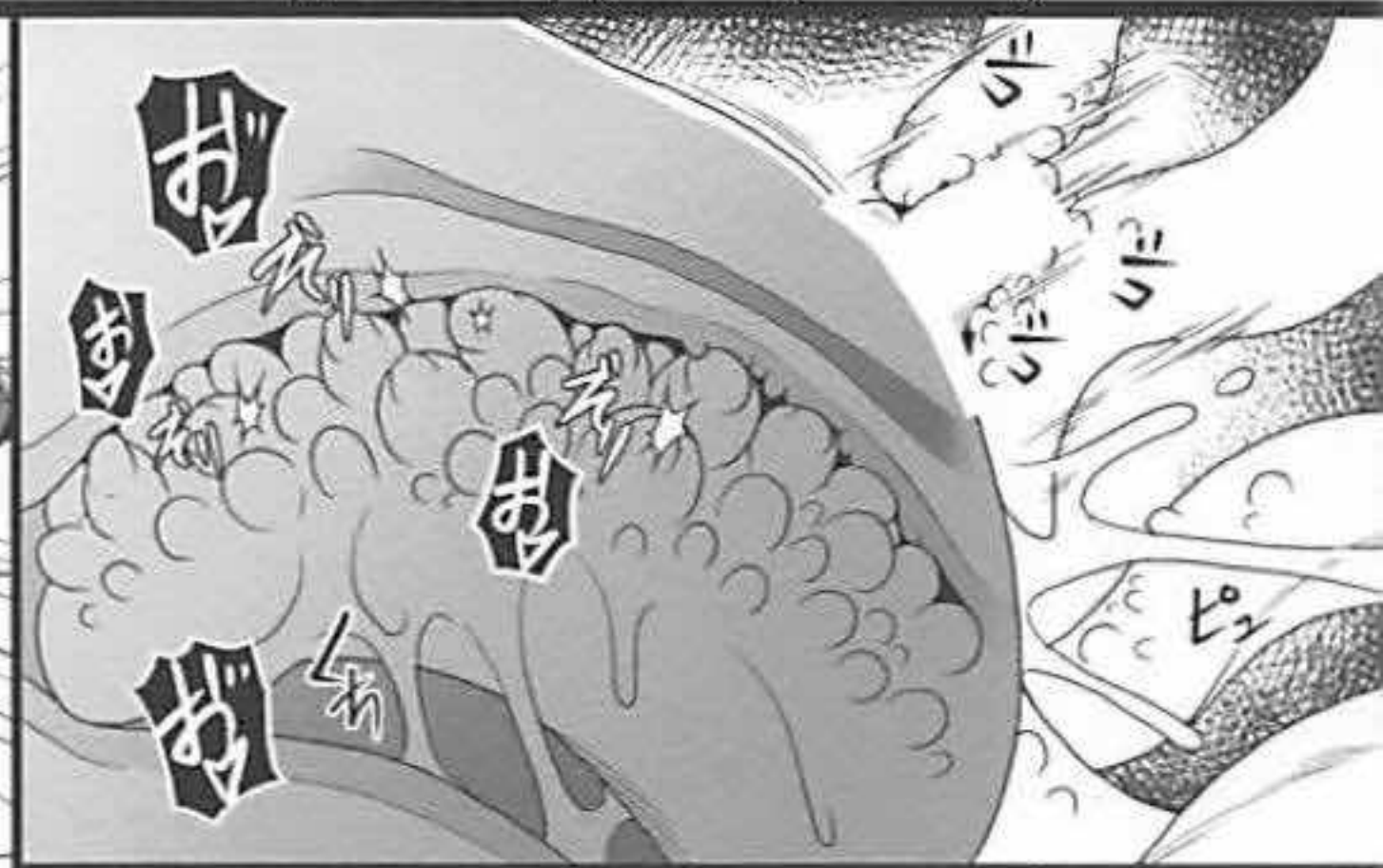


ウエルス達は被験体をより高みの絶頂に押し上げようと
皮膚や粘膜を紙め上げ、突起をしゃぶり、咀嚼する

被験体が通るたびに体表が
より快楽を得やすいように変質していく

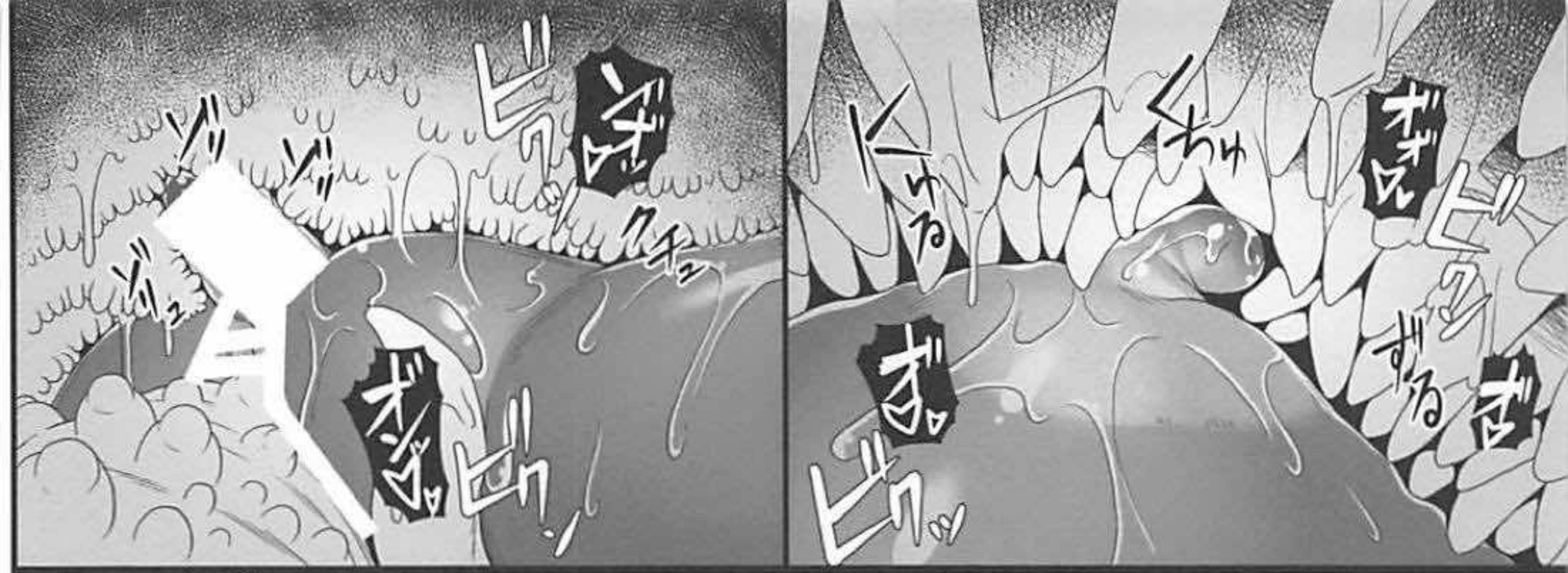














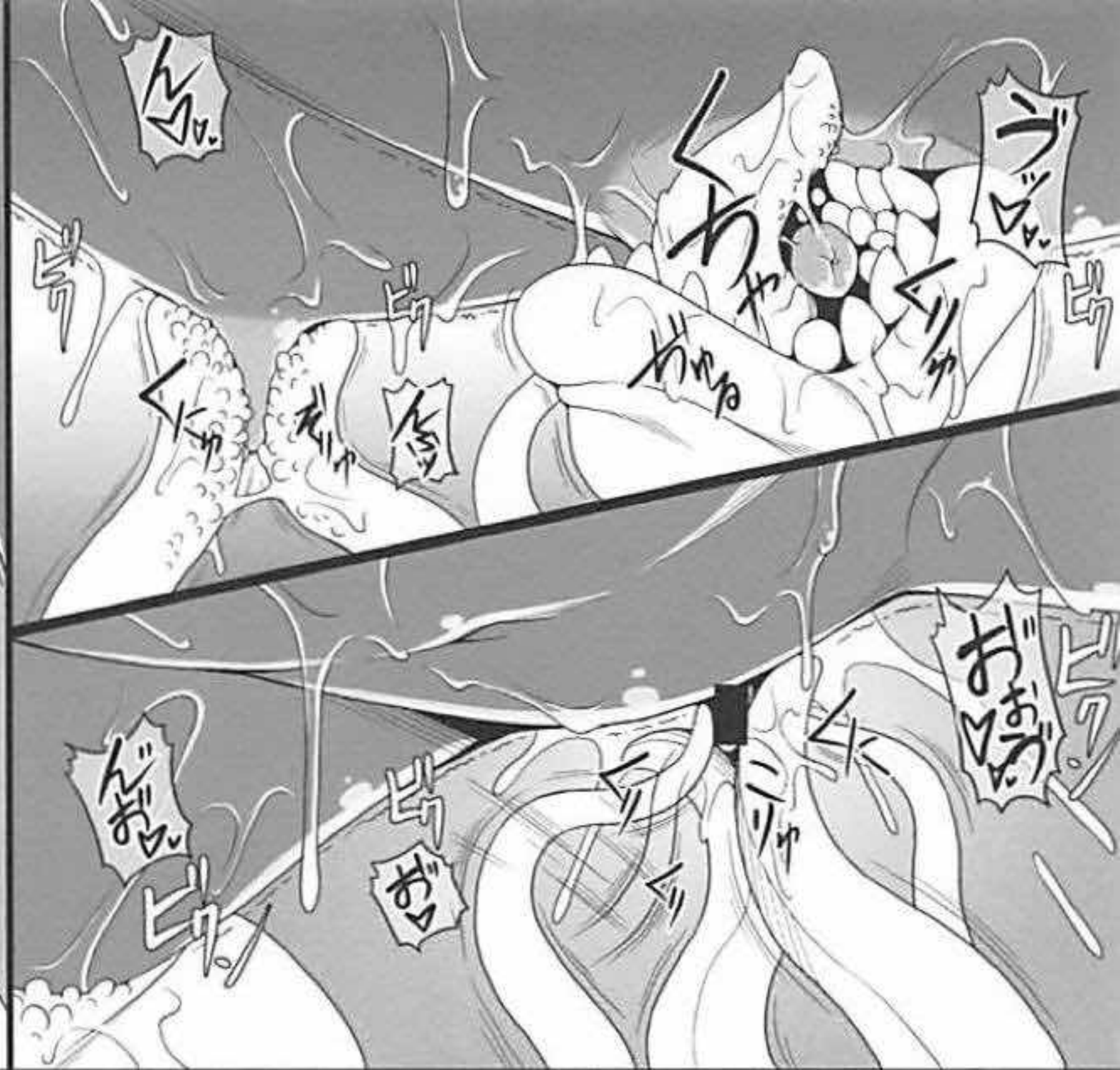
性感を剥き出したされた体表を無数の織毛が撫で倒してゆく

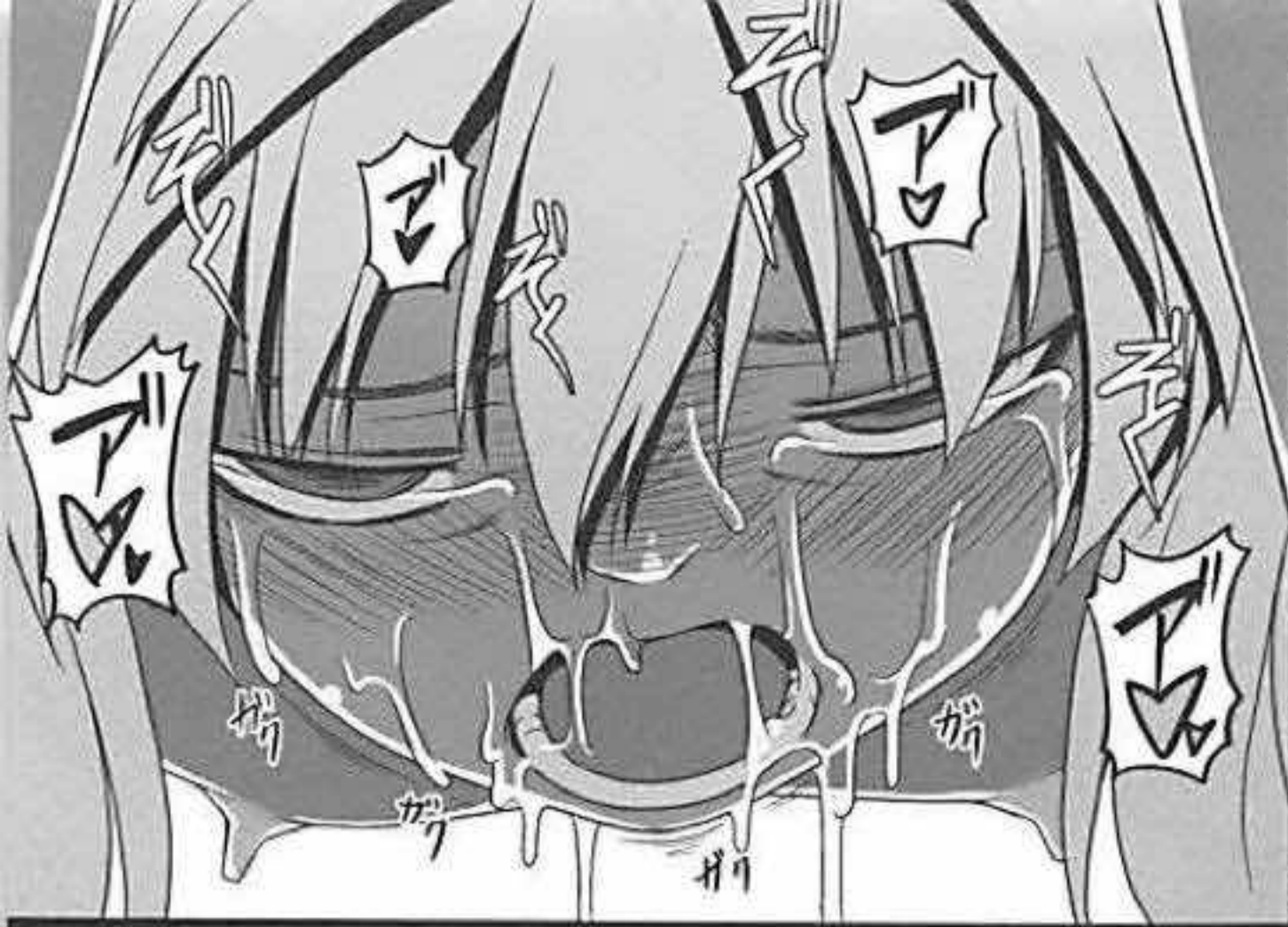
外部からは中の様子は伺えない
全身を愛撫され絶頂の海に溺れたのであるが
観測できる脳波をみるに既に意識を保っているが
どうか怪しいところではある

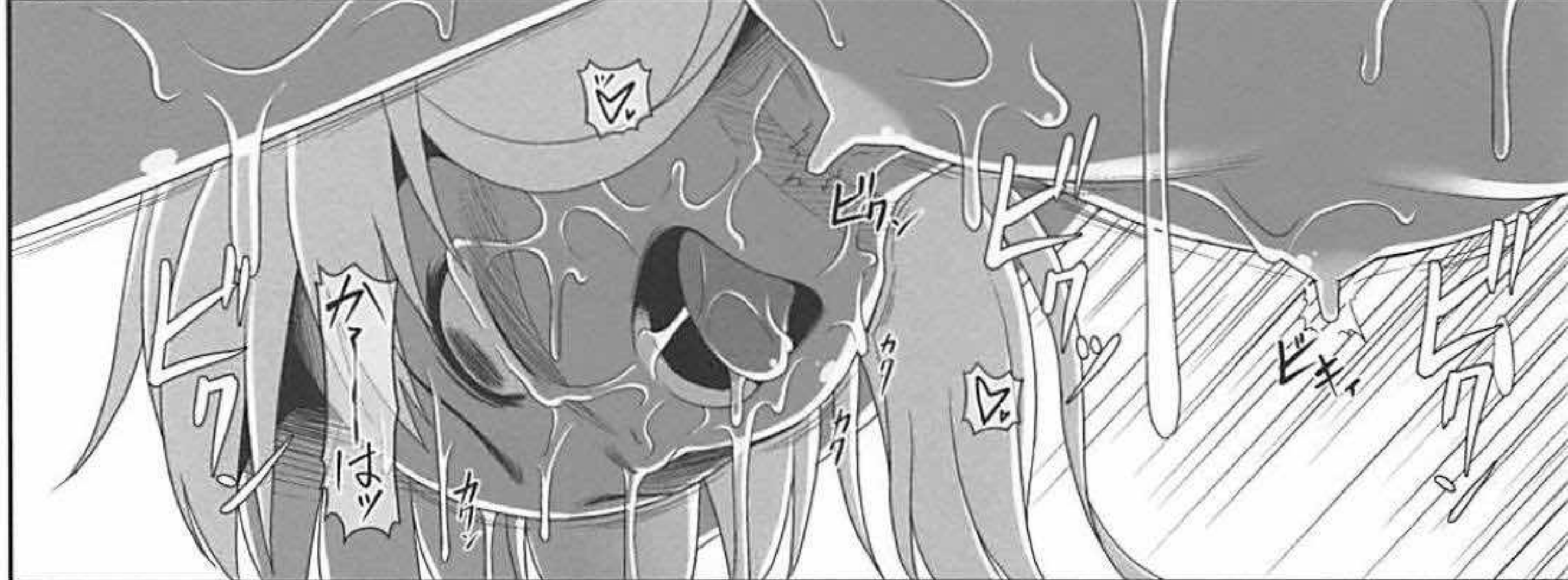
今回の実験は被験体が寝るまで何もしないでいる

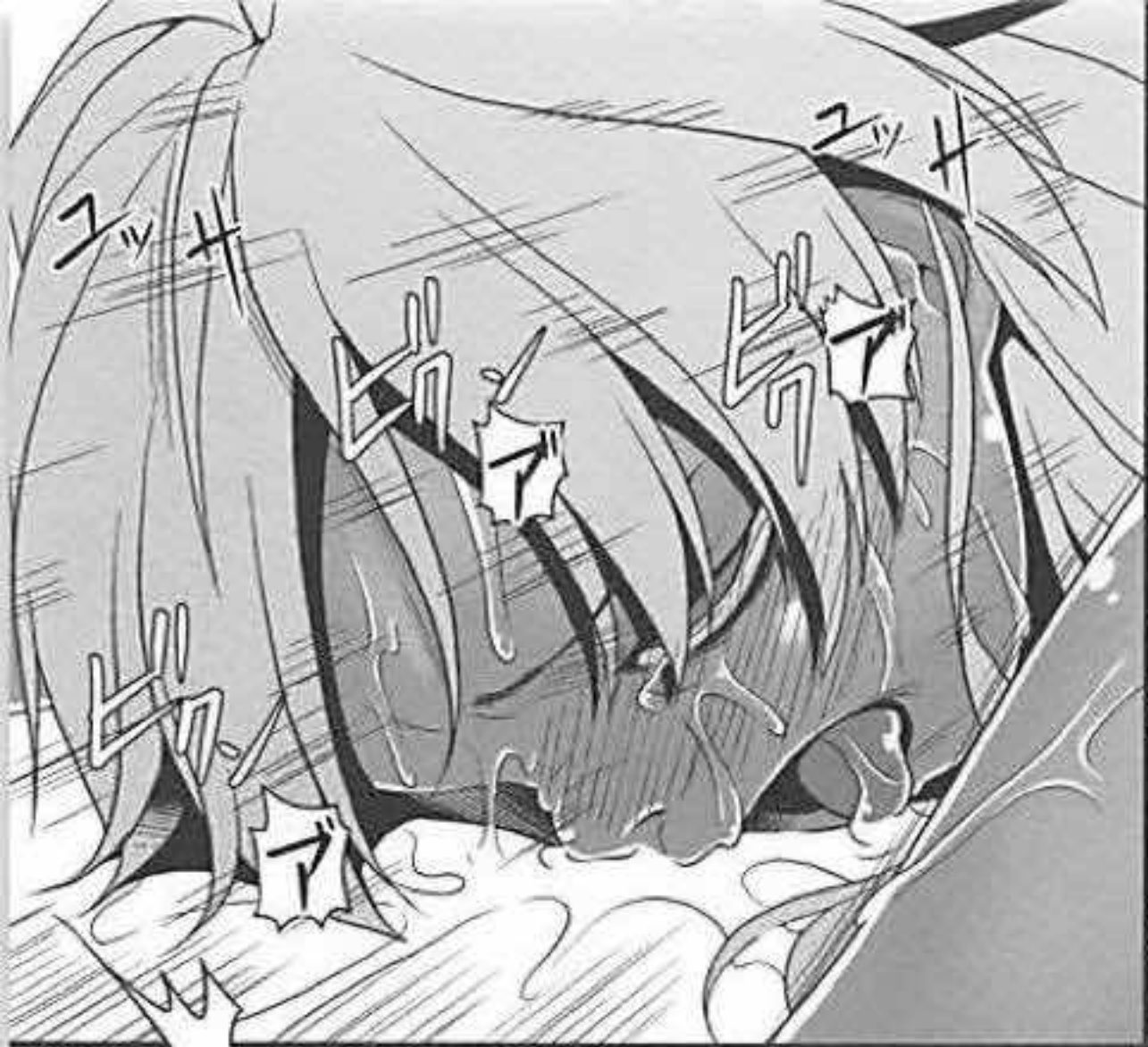
ひとまずウエルヌ達が飽きるまで
全身媚薬漬けのまま放置しよう











強烈な突き込みによってついには覚醒したようではあるが
途端に絶頂に放り上げられ被験体は半狂乱になっているようだ

この期に及んで我を取り戻したことは
被験体にとって不運なことであらう





被験体がウエルスに取り込まれて八時間後――

動きを止めたウエルスの中から
シャーベット状に溶けた被験体らしきモノ
を発見した。

遂にナノマシンの形状維持に障害が発生し
崩壊したと思われる。

実験は成功――総実験時間は二八時間

――なお、再びヒト型に戻るの三日を要した

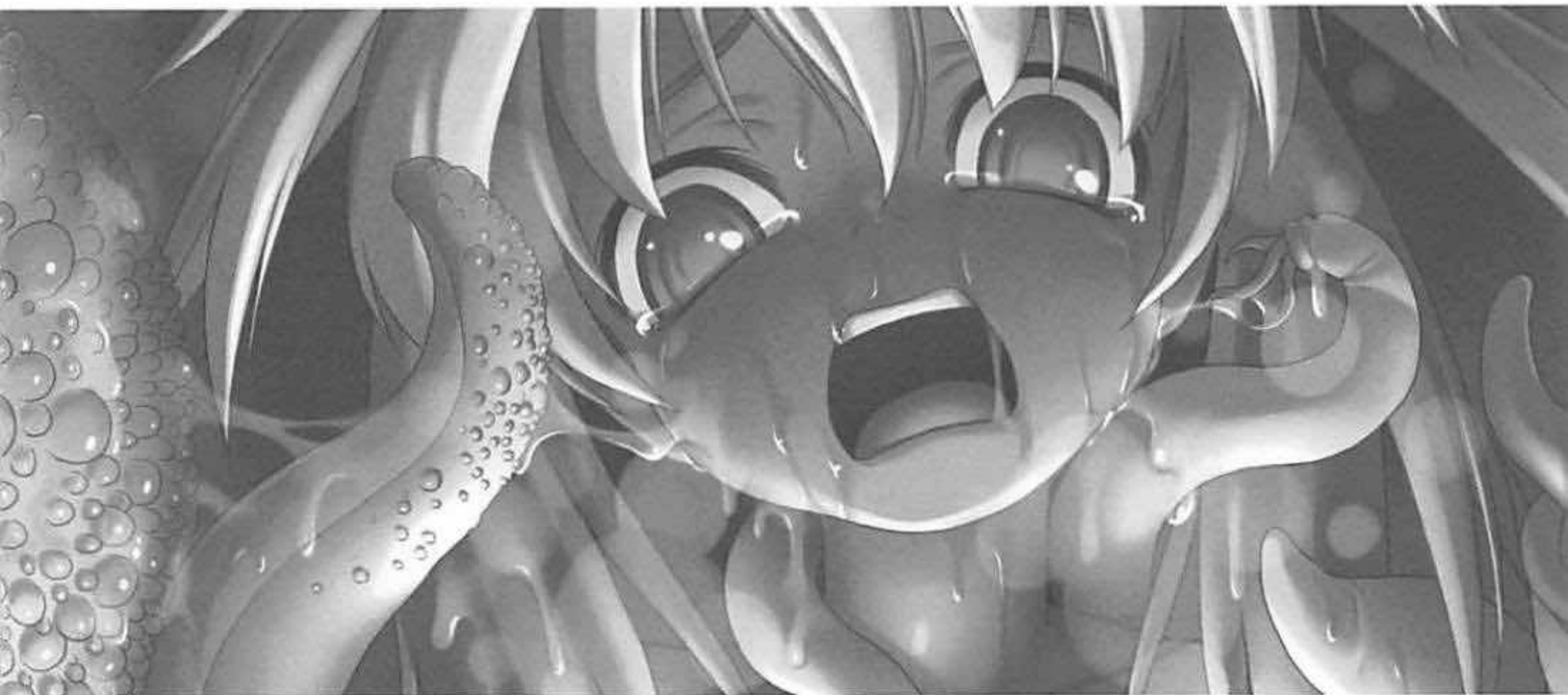
[Postscript]

■この度は本書をお手にとって頂き、まことにありがとうございます。Jackyです。

今回は2冊目のエメラダ本になりました。前回の続きとなっていますが、続いている必要性がほとんどなかったみたいですね…。一応、初っ端から全開でいけるように最初から調教済、とかそういう意図だったのですが、全然表現できませんでした。

■いつもと同じく突起責め中心で組み立てました。エメラダみたいな褐色ツルベタ貧乳キャラは挿入するよりも、身体中を撫で回してナンボだと思えます。たださすがマンネリ化してきた気がするので、次までにはもっと効果的なシチュを考えてみたいと思います。…でも四肢拘束して突起責めとか他にどんな見せ方があるっていうんだろう…。

■そんな感じですが、次回もまたお付き合いいただけたら幸いです。それでは。



EMERALD SPLASH 2

発行日： 2014年8月17日
発行： AERIAL RAVE
発行人： Jacky
印刷： Comflex

<http://www.aerialrave.com/>
jacky@aerialrave.com

A vibrant, stylized illustration of an aerial rave scene. The background is a warm, orange-brown gradient with soft, glowing light spots. In the foreground, several people are depicted from the waist up, wearing large, flowing, pinkish-purple garments that resemble tentacles or long sleeves. They are surrounded by large, green, pointed leaves that look like tropical plants. The overall atmosphere is energetic and surreal.

AERIAL RAVE
2014.08